第9期

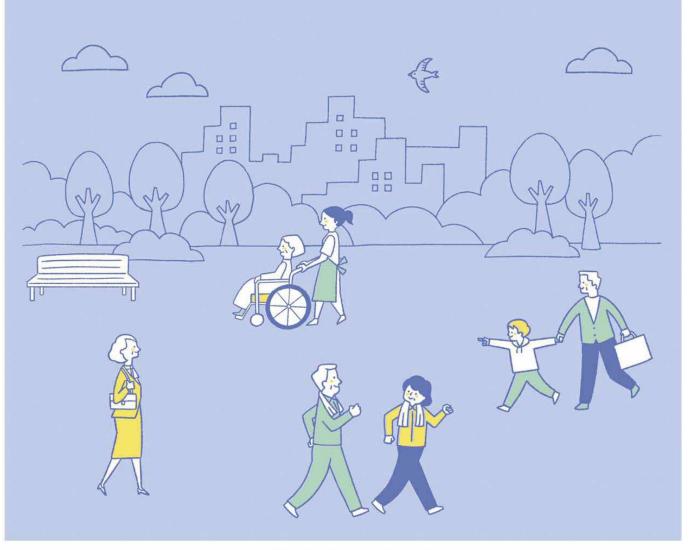
2024 - 2026

吹噩

健やか

年輪プラシ

(吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)



令和6年(2024年)3月

吹田市

身 近 な 地 域 で 共 に い き い き と 安 心 ・ 安 全 に 暮 ら せ る ま ち



はじめに

人口増加傾向の続く本市において、総人口に占める 65 歳以上人口の割合である「高齢化率」は国や大阪府より下回る水準で推移しています。令和 5 年 (2023 年) 9 月末日現在、65 歳以上人口は 90,746 人、高齢化率は 23.7%で、第 7 期吹田健やか年輪プラン(吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)初年度である平成 30 年度 (2018 年度) の高齢化率 (23.7%) からほぼ横ばいとなっています。

しかし、本市においても 65 歳以上人口は増え続けていることから、今後は高齢 化率も上昇し、2050 年には 34.7%となり、実に総人口の3人に1人が 65 歳以上 になると見込んでいます。

本市では、第7期より、団塊の世代が75歳以上となる2025年までの道筋を示したロードマップを策定し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を実施してきました。2025年を目前に控えた今、本市の65歳以上人口がピークを迎える2050年を見据え、制度・分野の枠や従来の「支える側」「支えられる側」という関係性を超えて、人と人や社会がつながる地域づくりを進めていくためには、地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進と、その先にある地域共生社会の実現が必要です。

そのため、本計画では第8期の将来像である「身近な地域で共にいきいきと安心・安全に暮らせるまち~ずっと吹田で、ずっと元気に~」を引き継いだ上で、2050年における本市の理想像を示し、その理想像実現のために取り組むべき施策の方向等を示したロジックモデルを策定しました。このロジックモデルで設定した施策の方向等の具体的な取組を本計画に記載しています。

年齢を重ねても、身近な地域で共にいきいきと、ずっと吹田で、ずっと元気に暮らしていただけるよう、行政も全庁挙げて取り組んでまいりますので、市民や関係機関・団体の皆様のより一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、活発なご議論と貴重なご意見をいただきました吹田市社会福祉審議会高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進専門分科会の委員の皆様をはじめ、高齢者等の生活と健康に関する調査にご協力くださった皆様、パブリックコメントをお寄せいただいた皆様、関係各位に心からお礼申し上げます。

2024年3月

吹田市

目 次

| 第1章 | 第9期計画の概要 | . 1 |
|-----|--|-----|
| 1 壽 | ├画策定の趣旨 | 1 |
| | 「画泉足の趣ョ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| | | |
| | 法的位置付け | |
| | 他計画との関係 | |
| | 十画の期間 | |
| | 十画の策定方法 | |
| | 計画策定の機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| | 高齢者等の生活と健康に関する調査の反映 | |
| | 市民意見等の聴取 | |
| | 十画の策定方法 | |
| | 目標設定 (Plan)・推進 (Do) | |
| | 進捗状況の分析・評価 (Check)・改善 (Action) | |
| | 進捗状況の公表 | |
| | トービス整備圏域の考え方 | |
| 7 本 | 計画と SDGs の関係 | O |
| | | |
| 第2章 | 高齢者を取り巻く状況 | . 7 |
| 1 名 | ・ ・ ・種統計データからみる吹田市の現状 | 7 |
| | 20 年間における人口の推移(国勢調査) | |
| | 近年の人口の推移(住民基本台帳) | |
| | 世帯の状況 | |
| | 健康寿命 | |
| | に援を必要とする人の状況 | |
| | 要支援・要介護認定者の推移及び推計2 | |
| | 認定率の推移及び推計 | |
| | サービス整備圏域別の認定者の推移及び推計 | |
| | 介護予防・日常生活支援総合事業 | |
| , , | ~ 「高齢者安心・自信サポート事業」~の状況2 | 26 |
| (5) | 介護保険サービス受給者の状況2 | 27 |
| | 認知症の人数 | |
| | 権利擁護に関する取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| | 地域で活動する方々 | |
| | | |

| (2) | 自治会(全世帯) | 38 |
|------|----------------------------|----|
| (3) | 地区福祉委員会 | 39 |
| (4) | 高齢者生きがい活動センター等 | 39 |
| (5) | 生涯学習・スポーツ活動等 | 39 |
| (6) | 就業状況 | 40 |
| (7) | 公益社団法人シルバー人材センター | 40 |
| 5 地 | 地域での支援体制 | 41 |
| (1) | 民生委員・児童委員 | 41 |
| (2) | 介護サービス相談員 | 41 |
| (3) | 介護支援サポーター | 42 |
| (4) | 介護予防推進員 | 42 |
| (5) | 認知症サポーター | 43 |
| (6) | 認知症キャラバン・メイト | 43 |
| (7) | 高齢者見守り活動協力事業者 | 44 |
| 6 高 | 5齢者向け住まい | 45 |
| (1) | 高齢者向け住まいの種類 | 45 |
| (2) | 高齢者向け住まいの推移及び推計 | 46 |
| 7 高 | S齢者等の生活と健康に関する調査からみる吹田市の現状 | 48 |
| (1) | 調査の概要 | 48 |
| (2) | 回答者の属性 | 48 |
| (3) | 世帯、住まいの状況 | 49 |
| (4) | 就労意向 | 50 |
| (5) | 新型コロナウイルス蔓延に伴う行動の変化 | 50 |
| (6) | 外出の状況 | 51 |
| (7) | 趣味・生きがい | 51 |
| (8) | 地域活動 | 52 |
| (9) | 地域包括支援センター・成年後見制度の認知度 | 53 |
| (10) | 高齢者虐待 | 54 |
| (11) | 身体機能等、リスク判定結果 | 55 |
| (12) | 健康・介護予防 | 55 |
| (13) | 在宅医療 | 57 |
| (14) | 認知症 | 57 |
| (15) | 介護保険サービス | 58 |
| (16) | 介護者の状況 | 59 |
| | 情報収集 | |
| (18) | 防犯・防災 | 62 |
| (19) | 望む高齢者保健福祉施策 | 63 |
| (20) | めざすまちの姿に対する評価 | 64 |
| | | |

| 第3章 第8期計画の評価と第9期計画の課題 | . 65 |
|----------------------------------|------|
| 1 第8期計画の評価 | 65 |
| 2 第9期計画の主要な課題 | |
| | |
| 第4章 第9期計画の基本理念 | . 74 |
| 1 吹田市における地域包括ケアシステムのイメージ | 74 |
| 2 将来像 | 75 |
| 3 第9期計画のめざすところ(将来像達成に向けたロジックモデル) | |
| 4 計画の体系 | 79 |
| | |
| 第5章 第9期計画の施策の展開と目標の指標 | . 80 |
| 基本目標1 生きがいと健康づくり・介護予防の推進 | 81 |
| 施策の方向1 生きがいづくりの推進 | 82 |
| (1)集いの場の充実 | 82 |
| (2) 学習・社会参加の推進 | 83 |
| (3) 地域活動参加への支援 | 84 |
| 施策の方向2 生涯を通じた健康づくりの推進 | 85 |
| (1) 生涯スポーツの推進 | 85 |
| (2) 健康づくりの推進 | 85 |
| (3)生活習慣病対策の推進 | 86 |
| (4)歯科口腔保健の推進 | 86 |
| (5)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 | 87 |
| (6) その他疾病対策等 | |
| 施策の方向3 介護予防事業の充実 | |
| (1)介護予防の普及啓発の推進 | |
| (2) 住民主体の介護予防活動支援の充実 | |
| (3)介護予防事業の充実 | |
| 基本目標2 地域における支援体制の充実 | |
| 施策の方向 1 地域包括支援センターの適切な運営と機能強化 | |
| (1) 地域包括支援センターの適切な運営と機能強化 | |
| (2) 相談窓口の周知・充実 | |
| 施策の方向2 地域での支え合い機能の強化 | |
| (1) 相談支援の連携体制の構築 | |
| (2) 地域における支え合い活動への支援 | |
| (3) 生活支援体制の整備に向けた仕組みづくりの推進 | |
| 施策の方向3 在宅医療と介護の連携の推進 | 100 |

| (1) 在宅療養を支えていくための連携体制の推進 | 101 |
|--------------------------------|-----|
| (2) 在宅療養等についての市民啓発の推進 | 102 |
| 基本目標3 認知症施策の推進 | 106 |
| 施策の方向 1 認知症についての啓発 | 107 |
| (1) 身近な場所での認知症の情報の周知 | 107 |
| (2) 認知症サポーターの養成 | 107 |
| 施策の方向2 認知症の人とその家族への支援 | 108 |
| (1) 早期発見・早期対応に向けた支援の充実 | 108 |
| (2) 認知症の人とその家族への支援の充実 | 108 |
| (3) 身近な地域での相談や集える場所の確保 | 109 |
| 施策の方向3 効果的な支援体制の構築とケア向上の取組の推進 | 109 |
| (1)地域における見守り体制構築に向けた支援 | 109 |
| (2) チームオレンジ等への活動支援 | 110 |
| (3)認知症初期集中支援チームによる取組の推進 | 111 |
| (4)認知症地域支援推進員による取組の推進 | 111 |
| (5) 支援体制の質の向上 | 111 |
| 基本目標4 生活支援・介護保険サービスの充実 | 113 |
| 施策の方向1 自立支援型ケアマネジメントの浸透・定着 | 114 |
| (1) 自立支援型ケアマネジメントの啓発 | 114 |
| (2)自立支援型ケアマネジメントの事業者への浸透・定着 | 114 |
| 施策の方向2 高齢者安心・自信サポート事業の充実 | 116 |
| (1)多様な主体による生活支援の充実に向けた支援 | 116 |
| (2) 通いの場の充実に向けた支援 | 116 |
| 施策の方向3 在宅高齢者と家族介護者への支援 | 117 |
| (1) 自立した在宅生活への支援 | 117 |
| (2) 家族介護者への支援の充実 | 118 |
| (3)介護離職防止に向けた取組の推進 | 118 |
| 施策の方向4 介護保険サービス利用者の支援の充実 | 119 |
| (1)介護保険制度の情報提供の充実 | 119 |
| (2)低所得者支援の充実 | 119 |
| 施策の方向5 介護保険制度の持続可能な運営に向けた取組の推進 | 120 |
| (1)介護人材確保策の推進 | 121 |
| (2)介護保険サービスの質の向上と介護給付適正化 | 122 |
| (3)地域密着型サービス等の整備 | 124 |
| 基本目標5 安心・安全な暮らしの充実 | 126 |
| 施策の方向1 高齢者の住まいの安定確保に向けた支援 | 127 |
| (1)住み慣れた家で暮らし続けるための支援の提供 | 127 |
| (2) 高齢者向け住まいの支援 | 127 |
| (3) 高齢者向け住まいの供給と質の確保・向上 | 128 |

| 施策の | の方向2 安心・安全な生活環境の推進 | 129 |
|------|-------------------------------------|-----|
| (1) |) バリアフリー化の推進 | 129 |
| (2) |) 交通安全の推進 | 129 |
| 施策の | の方向3 防災・防犯の取組の充実 | 129 |
| (1) |) 地域における防災力向上の推進 | 130 |
| (2) |) 減災に向けた取組の推進 | 130 |
| (3) |) 地域における防犯力向上の推進 | 131 |
| (4) | 消費者被害や特殊詐欺被害の防止に向けた取組の充実 | 131 |
| (5) | 高齢者福祉施設等における防災・防犯・感染症対策への支援 | 132 |
| 施策の | の方向4 権利擁護体制の充実 | 133 |
| (1) | 高齢者虐待防止に向けた取組の推進 | 133 |
| (2) |)成年後見制度の利用促進 | 134 |
| 2025 | 年に向けた地域包括ケアシステム構築のロードマップ | 137 |
| | | |
| 第6章 | 介護保険サービスの見込量と保険料 | 147 |
| | | |
| 1 : | 介護保険料の決め方と財源構成 | 147 |
| (1) |)第1号被保険者の介護保険料 | 147 |
| (2) |) 介護給付費の財源構成 | 147 |
| - | 坡保険者数 | 148 |
| 3 = | 要支援・要介護認定者 | 150 |
| (1) |)要支援・要介護認定者の推移及び推計 | 150 |
| |) 認定率の推移及び推計 | |
| (3) | サービス整備圏域別の認定者の推移及び推計 | 157 |
| 4 | 介護保険サービスの利用状況と見込量 | 160 |
| (1) |) 介護保険サービス受給者数の推移 | |
| (2) | 7,75 | |
| (3) |) 介護予防サービスの利用実績及び見込 | 168 |
| (4) | | |
| |) 介護予防・日常生活支援総合事業 | |
| | サービス整備圏域別 地域密着型サービス必要量 | |
| (1) |) 地域密着型サービスのうち施設・居住系サービスに係る必要利用定員総数 | 175 |
| |)地域密着型サービス事業所の必要整備数 | |
| | その他のサービスの必要入所定員総数等 | |
| 7 | 介護給付費の見込額 | 178 |
| (1) |) 介護給付費の推移 | 178 |
| (2) |) 介護給付費の推計 | 179 |
| 8 5 | 第1号被保険者の介護保険料 | 180 |
| (1) | 介護保険料の算定 | 180 |

| (2)第1号被保険者の介護保険料の推移 | |
|---|----------------|
| (3) 所得段階別保険料額 | 182 |
| >/zv\lv\ ⟨c== | 100 |
| 資料編 | |
| 1 計画策定の根拠となる法律の条文 | |
| 2 吹田市民のくらしと健康を支える福祉基本条例 | 188 |
| 3 計画策定のための体制 | |
| (1) 吹田市社会福祉審議会 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進専門分利 | 斗会 開催状況 192 |
| (2) 吹田市社会福祉審議会 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進専門分科 | 斗会 委員名簿 193 |
| (3)吹田市社会福祉審議会規則 | |
| (4)吹田市高齢者保健福祉施策・介護保険事業推進本部 開催 | ば状況 197 |
| (5)吹田市高齢者保健福祉施策・介護保険事業推進本部設置要 | 領198 |
| 4 計画策定に係る諮問書及び答申書 | 201 |
| 5 パブリックコメント結果一覧 | 203 |
| 6 介護保険サービス一覧 | 204 |
| 7 介護保険法等の改正の主な内容 | 206 |
| 8 施設整備状況 (2024年3月1日現在) | 207 |
| (1) 市域全体図 | 207 |
| (2) 地域密着型サービス | 208 |
| (3)特別養護老人ホーム・介護老人保健施設 | 210 |
| (4) 高齢者向け住まい | 212 |
| (5)高齢者向け施設、集いの場・通いの場 | 214 |
| (6) コミュニティ施設 | 216 |
| 9 用語説明 | 218 |

コラム一覧

| コラム 1 | 認知症の人の割合 | 31 |
|--------|-----------------------|----|
| コラム2 | 吹田市における介護現場の状況 | 37 |
| コラム3 | アクティブシニア活躍の場 地域のサポーター | |
| コラム4 | 高齢者向け住まい・施設のイメージ | |
| コラム5 | 地域共生社会と地域包括ケアシステム | |
| コラム6 | 集いの場に行ってみよう | 83 |
| コラム7 | フレイル予防のための体操 | 90 |
| コラム8 | 重層的支援体制整備事業とは? | 97 |
| コラム9 | 大切な人とあなたの「人生会議」 | |
| コラム 10 | 優しさつながるチームオレンジ | |
| コラム 11 | 自立支援型ケアマネジメント | |
| コラム 12 | なくそう!介護現場でのハラスメント | |
| コラム 13 | 特別養護老人ホームの費用はいくらぐらい? | |
| コラム 14 | 誰もが安心できる住まいを | |
| コラム 15 | 高齢者の権利擁護 | |
| コラム 16 | グループワーク みんなができること | |
| コラム 17 | 保険料はいくらぐらい? | |